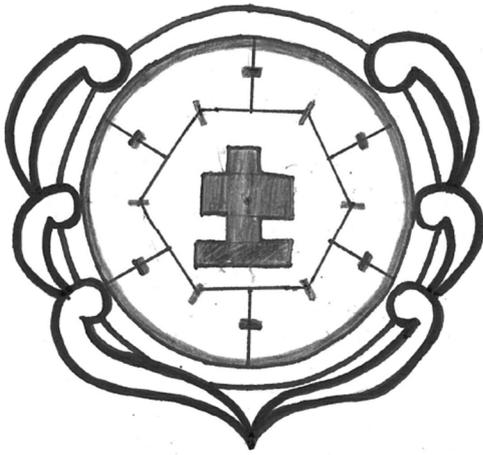


小委員会で選定されたデザイン案

第1候補



「輪と和」

- ・波をかき分けるように何にでも挑戦していく姿。
- ・土崎の曳山のタイヤのようにスピードはゆっくりでも自分のペースで進んでいて、いろんなものを積み重ねていけるように。
- ・両校の子どもたちを育てている土崎のシンボルとして「曳山の車輪」と両校の校章にある「波しぶき」を使い、思いを込めてデザインしました。

- ①両校の友達の輪が広がりつながるように
- ②和やかに生活できるように
- ③平和が続くことを願って
- ④曳山の車輪のようにたくましく支え合えるように

第2候補



波と波のしぶきは、土崎の港魂を表現しています。6つの大きな波には「学び」、「創造」、「希望」、「調和」、「発展」、「生きる力」の意味が込められています。翼は鳩の翼をイメージしており、平和と、校舎でいきいきと学ぶ子どもたちの姿を現しています。どっしりと置かれた「土」の文字に、「円満」を願う様、上部を波しぶきで丸く囲いました。

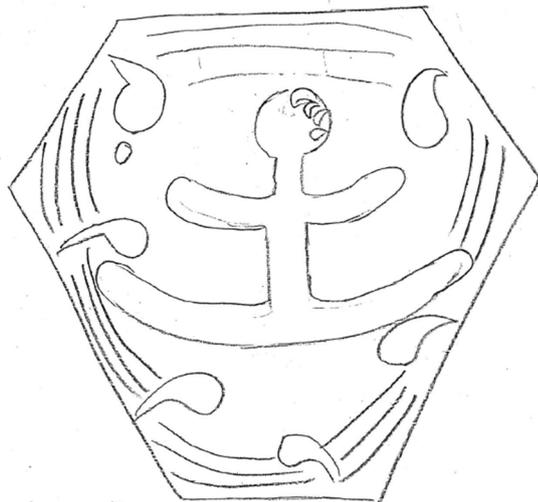
下部の三本線には二つの意味があります。一つ目は書物を表現し、子どもたちが学びをとおして生きる基礎が身につくように願いを込め、二つ目に水引をイメージしており、土崎小学校と土崎南小学校が強く結びつき、末永く続くようにと思いを込めました。書物と水引を表したモチーフからは、波しぶきで「知識や好奇心、生命力が湧き出るイメージ」も表現しています。

第3候補



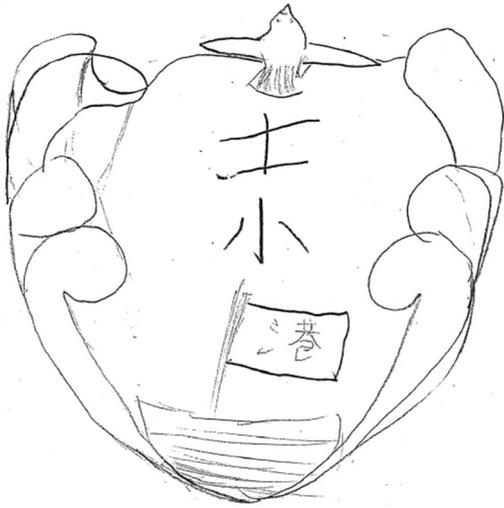
土崎小学校と土崎南小学校は港に近く波のイメージがある。土崎南小学校のわかほとを入れてほしい。

第3候補



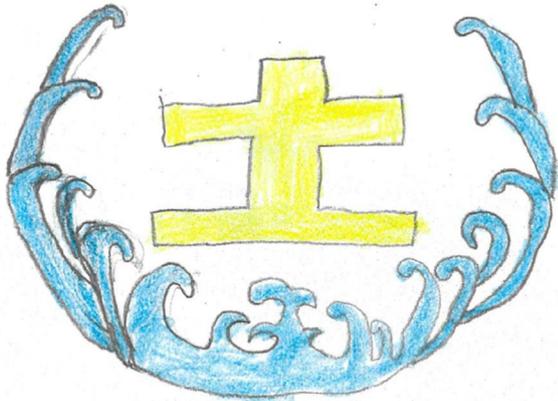
土小の校章が少しでも残ってほしいからアレンジしました。

第4候補



鳥のように未来を進む。船の中にいる人たちは、みんな仲良く、楽しく、楽観的に明るい学校になるように思いを込めました。

第4候補



土崎の海のように輝いていけるようなという思いを込めてこのデザインにしてみました。